

## 意見等一覧表

### 【協議事項】

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）について

意見：3件

意見等内容	事務局回答
<p>現在、「NPO 法人わだち」が実施している空白地有償運送は、本来であれば行政が先頭になって行わなければならない事業ではないかと思えます。特に竹岡地区は、国道より遠く離れた所に集落があり、国道まで出るには徒歩で約1時間かかります。また、国道のバスの運行も少なく、電車に乗るには最寄りの駅までさらに50分歩かなければなりません。その電車も1時間に1本しかありません。従いまして、「NPO 法人わだち」がこの事業を実施してくれている事は、地元の独居老人の皆様方にとりまして大変有難い事だと思えます。</p> <p>今、子供たちは都会に出、老々介護の人達や独居老人の人達は、近隣の親戚の人達に見守っていただき、送迎の援助を受けているという話も耳にします。しかし、その人達も同様に歳を重ね「NPO 法人わだち」のお世話になる事でしょう。来年は、団塊の世代が後期高齢者になり始めます。あと10年もすれば、運転免許証を返納しなければならなくなります。このような時に、空白地有償運送は必要不可欠なものとなります。現在、利用者数が少なくても、行政がおおいに理解し、補助の対象として協力することにより、この事業が継続できます。また、続けていく事こそが、老人の皆様に対する若い人達の義務ではないでしょうか。宜しく願い申し上げます。</p>	<p>いただいたご意見を真摯に受け止め、地域の移動手段確保の課題に対し、地域と共にしっかりと向き合ってまいります。</p>
<p>富津市内における公共交通機関事業の継続及び充実については、交通警察業務においても、高齢者が関係する交通事故の未然防止、加齢や病気等により運転に不安がある人の運転免許証自主返納の促進などの観点から推進の必要性</p>	<p>今後とも本市公共交通行政に対しご理解いただくとともに、情報発信や広報活動等にご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>

<p>があり、大いに賛同するところであります。</p> <p>特に、富津市内においては、高齢者が加害者又は被害者となる交通事故が多く発生しており、高齢者の安全・安心対策は喫緊の課題であります。</p> <p>同事業の必要性に関する情報発信、公共交通機関に関する広報活動など、可能な範囲で積極的に協力させていただきたいと思っておりますので、今後の改善点等の参考としてください。</p>	
<p>NPO の実施は住民にとって、移動の支援につながっているとは思いますが、エリア改定の効果、定時定路線としての運行のあり方等について、根本的な地域の利用ニーズ調査等の実施により、検討を進める時期にきていると思っております。</p>	<p>運行主体と共に、昨年 10 月に実施した運行計画変更後の利用動向を注視しつつ、引き続き地域の利用ニーズ把握に努め、真に必要とされる地域旅客運送サービスとなっているか、不断の検証を行い、必要に応じた軌道修正を図ってまいります。</p>